



老人保健施設 サンタマリアニュース

発行日：2016年10月

発行責任者：永井 敏也

発行者：広報委員会

シスターのこぼ

『神のいつくしみのおん母 マリア』

マリアを通して与えられた父なる神のいつくしみ。

教会は12月8日、マリアの無原罪の宿りの祭日を祝います。「典礼におけるこの祝い日は、わたしたちの歴史の初めから、神がどのように振る舞われてきたかを示します。アダムとエバが罪を犯して以来、神は人類を孤独のうちに、悪の手の中に捨て置くことはなさいませんでした。だからこそ、神は、マリアを愛のうちに聖なるもの、汚れのない者にしようと考え、そう望まれたのです。(エフェソ 1.4 参照)

それは、マリアが人間のあがないの主の母となるためでした。罪の重大さを前にして、神は最高のゆるしをもっておこたえになりました。いつくしみはつねにあらゆる罪を凌駕し、ゆるしを与える神の愛を阻むものは何もありません。」

(『イエス・キリスト、父のいつくしのみ顔』カトリック中央協議会)

つまり、壮大な神の救いの計画の中で、あがないの主の母となるために、罪のけがれなく宿った方こそ、罪びとである私たちへの、決して撤回されることのない神のいつくしみの答えである、と。

無原罪の聖マリアは、私たち罪人とはかけ離れた特別の世界にいて、私たちとは何の接点もない方ではない。それどころか、まさに神が天地創造の始めから、私たちを「恵みにみちたもの」として、キリストのうちに望んだ神の「思い」の中に、始めから、永遠に存在する、人間の真の姿を、私たちに示していると言えるだろう。(「マリアの風に乗って」岡 立子) いつくしみ深い神がマリアを通して現わしてくださった人類への愛、その眼差しの中で生かされ、育まれている。いつくしみのこの特別聖年に父なる神様に新たに感謝をささげたい。

社会事業相談員 Sr.高橋 順子



— 利用者様の作品 —



ベトナムから「こんにちは ^ = ^」

～ベトナム介護技能実習生受け入れにあたって～

介護福祉分野にも、いよいよ外国人技能実習制度が適用されようとする動きが、日本の国会で法案通過を待って具体化されようとする中、今年の6月下旬、時代の動きに先駆けてベトナム医療教育機関視察という機会に恵まれました。

ベトナムは社会主義の国ではありますが、「人」、「人間」というグローバルな視点から何の違和感もなく、かえってベトナム人の誠実さ、明るさに接することができ、かかる制度の法案が国会で承認されたら、私たちのサンタマリアでも、介護技能実習生を受け入れる予定にしています。

医療・介護人材を育てているいくつかの学校を訪れて感じたのは、明るい笑顔がとても印象的だった学生さんたちの暖かい人柄を見ると、介護という仕事を目指すには安心感がありますが、彼らにとって最優先の課題はやはり日本語でのコミュニケーション能力です。日本に来る準備をする段階で、可能な限り日本語の習得に時間を割いてほしいと思います。実習生の身分なので介護技術や日本の文化などは来日してから也十分間に合うと思っています。

日本に、そしてサンタマリアに来られる日を楽しみにお待ちしております。利用者様をはじめ、職員共々暖かくお迎えできるよう、これから受け入れ準備を進めて行きたいと思います。

事務長 韓 宗勲



日本語を学んでいるベトナムの学生さんたち

第27回全国介護老人保健施設大会参加報告

去る9月15、16日、大阪で表記大会が開催されました。今年は「めっちゃ好きやねん老健～咲かせよう医療と介護の大輪の花～」のテーマのもと、全国3500余りの施設から6100人を超える参加者で大盛況でありました。

サンタマリアからは、演題発表二題を準備し、リハビリ部門で平沢理学療法士が「リハビリテーション会議実施による利用者様の変化」について、医療と看護介護部門から「医療行為をしないで自然に最期を迎えたい」とのテーマで萩原看護師が、それぞれ発表を行いました。発表を行った二人を含め、永井施設長、野田支援相談員、そして私の総勢5人で参加させて頂きました。演題発表は二題とも、前もって準備をして参加したこともあって、滞りなく落ち着いたよい発表ができたと思っています。

膨大な数の演題には、今サンタマリアで最も熱い話題の「介護ロボット」の演題もあり、高齢者施設でのロボット導入の動きが広がりにつつあるという、時代の流れを肌で感じ取ることができました。夕方の懇親会では、大阪という土地柄を思う存分感じる事ができる派手な催しや郷土料理も嗜むことができました。参加二日目も諸演題やセミナー等それぞれ行きたいテーマの会場に足を運び、午後4時頃までの日程を終え、無事に帰途に着きました。今回の大会参加を通して、多様な各施設のレベルの高い取り組みについて学ぶことができたことは有益でありました。参加させて頂いたことに、心から感謝いたします。

事務長 韓 宗勲



日本舞踊慰問

平成28年4月21日 (木)



アルパ演奏慰問

平成28年5月11日 (水)



バザー (守山作業所)

平成28年5月25日 (水)



サンタ・フェスタ

平成28年6月25日 (土)



一般浴室祝別式

平成28年6月30日 (木)



防災訓練

平成28年7月13日 (水)



サンタマリア祭ミサ

平成28年8月17日 (水)



長寿を祝う会

平成28年9月17日 (土)



ポップスオーケストラ慰問

平成28年9月28日 (水)



【リハビリ用語の基礎知識】

今号では、ケアプランによく使われるリハビリ用語を簡単に解説します。

◇ 徒手（としゅ）

機械や器具を使用せず、セラピストが素手でリハビリをすること。素手で筋緊張の運動を行いやすくすることで、関節可動域の改善を図ります。また、セラピストで筋力強化を図ったりします。



◇ 端坐位（たんざい）

ベッドの端に腰掛け、足を下ろした姿勢のこと。背もたれが無いので、腹部や背部、つまり体幹の筋力の強化を図ります。ちなみに、「坐」は「動作」を意味し、「座」は「椅子などの場所」を意味します。

◇ ADL（エー・ディー・エル）

Activities of Daily Living の略で、日本語では「日常生活動作」と訳されます。食事、排泄、着脱衣、入浴、移動、整容、コミュニケーション能力といった日常の生活を送るために必要な基本動作で、身体活動能力や障害の程度をはかるうえでの指標の1つになっています。

◇ 拘縮（こうしゅく）

関節を形成する軟部組織（皮膚、靱帯、筋など）の変化による関節の運動制限を指します。回復には多くの時間と労力が必要になります。

クラフト・クラブ

昨年秋から始まった、支援相談員を中心としたレクリエーション活動「クラフト・クラブ」が一年を迎えます。

これまでに、プラスチックの板を使ったクリスマス・オーナメント作りやマーブリングの技法を使った団扇作り、草木染のハンカチ作りなどをしました。また、季節を感じられる毎月のカレンダーも作成しています。

8月からは、新たに「パステルアート教室」も始まり、皆様にご好評をいただいています。いずれも不定期に開催していますので、参加をご希望の方は、支援相談員までお声掛けください。



冬季感染症について

インフルエンザ、ノロウイルスなどの冬季感染症に注意しましょう。

手洗い・うがいの励行、マスクの着用とともに、毎日の健康管理にも注意しましょう。

今年も施設内で入所中の方のインフルエンザ予防接種を実施いたします。重症化予防、集団感染防止の為、ワクチン接種にご理解とご協力をお願いいたします。

感染防止委員会

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所：名古屋市天白区鴻の巣1-1101 Email：info@santamaria.or.jp

電話：052 (803) 3611

ホームページ：http://www.santamaria.or.jp

FAX：052 (803) 7435

次回発行予定 平成29年4月